【個人】 **山　行　報　告　書** 提　出　令和元年８月１７日

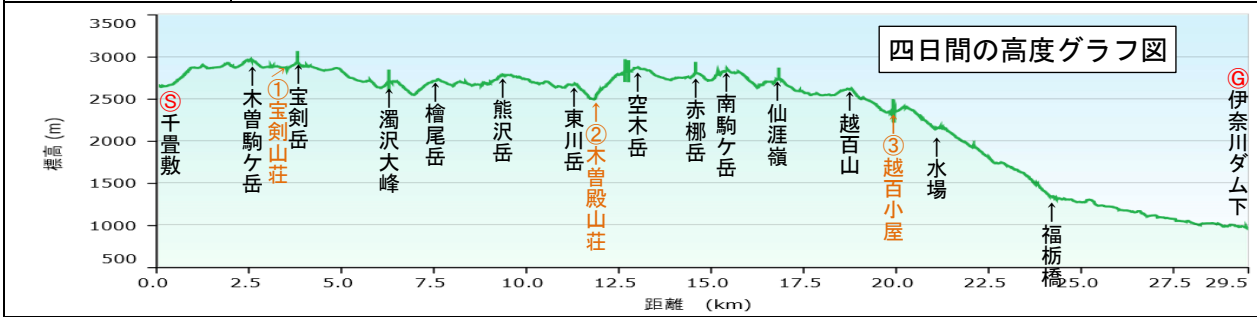
山　域・山　名：中央アルプス縦走（木曽駒ケ岳 2956.1m～越百山 2613.6m）
（長野県木曽町・上松町・宮田村・駒ヶ根市・飯島町・大桑村）　報告者：岩田

入山日：令和元年８月年８月７日（水）～10 日（土）３泊４日　メンバー：岩田　他１名

宝剣岳直下を下る。南アルプス(仙丈ケ岳～荒川三山)と中央に富士山を遠望。

午後８時、宝剣岳天狗岩。左上に木星、その下にアンタレスとさそり座、月の右下にスピカ

第一日目 ８月７日(水) 晴時々曇り	6:45 バスタ新宿⇒10:15 駒ヶ根 BT10:30⇒11:15 しらび平 11:30➡11:37 12:25Ⓢ千畳敷 H=2650m→13:25～13:55 宝剣山荘 2872m→14:07 中岳 2925m→14:40～15:00 木曽駒ケ岳 2956.1m→15:47①宝剣山荘（泊）2872m **行動時間：３時間２２分**
第二日目 ８月８日(木) 晴	6:03 宝剣山荘 2872m→6:20～32 宝剣岳 2931m→7:03～17 三ノ沢分岐 2890m→7:25 極楽平 2837m→7:34 島田娘 2858m→8:35 濁沢大峰 2715m →10:06～25 檜尾岳 2728.0m→12:13～35 熊沢岳 2778m→14:18～31 東川岳 2671m→14:53②木曽殿山荘（泊）2506m　**行動時間：８時間５０分**
第三日目 ８月９日(金) 晴	5:45 木曽殿山荘 2500m→7:15 第１ピーク 2785m→7:45 第２ピーク 2833m →8:08～30 空木岳 2864.0m→9:47 赤梛岳 2798m→10:09 分岐 2718m→ 10:54～11:16 南駒ケ岳 2841 m→11:30 小ピーク 2823m→12:06 コル 2628m→12:51 仙涯嶺 2734m→13:50～14:00 小ピーク 2562m→14:35～ 48 越百山 2613.6m→15:28③越百小屋（泊）2350m　**行動時間：９時間４３分**
第四日目 ８月 10 日(土) 晴	5:43 越百小屋 2350m→5:56 小ピーク(福栃山)2408m→6:48～7:00 上の水場 2150m→御嶽山見晴台（不明)→8:47 下の水場 1544m→9:19～30 福栃橋・林道に出る 1322m→10:11 今朝沢橋 1101m→10:15 登山口 1108m→11:10Ⓖ伊奈川ダム下 959m　**行動時間：５時間 27 分** 11:55 伊奈川ダム下（南木曽観光タクシー☎0264554155）⇒12:20 ねざめホテル☎ 0264522245 入浴 15:00⇒15:10JR 上松 15:25⇒16:20 塩尻 16:38⇒（あずさ 28 号）⇒19:06 新宿



感想：第一日目　ロープウェイで千畳敷に着いた時は曇り空だったが、宝剣岳などの峰々がぐるりと見渡せた。歩きはじめるとさっそくハイマツの陰からイワヒバリの歓迎の挨拶を受け、一時間余りで宝剣山荘に到着した。一昨年 12 月末に雪の中を苦労し 2 時間以上かけて登ったのがウソのようだ。山荘で受付をすまし、サブザックで木曽駒ケ岳を往復した。帰路は中岳の巻道を通ったが、岩が多く標識には難所と表示があった。岩の間に咲く紫色のイワギキョウがきれい。

小屋に戻って数分後に土砂降りとなり、一時間後には二重の虹がでた。宿泊者約 40 名。駒ケ岳キャンプ場にはテント約 20 張り。中央アルプス縦走路にはここ一ヶ所しかキャンプ場はない。

第二日目　約 20 分で宝剣岳山頂についた。360 度の大パノラマが広がり、雲海上に槍穂高そして富士山が農鳥岳と塩見岳の間に頭を出している。宝剣岳の南西隣りにそびえている三ノ沢岳は三角形のどっしりとした渋い山だ。昨晩同室の三人組はこの三ノ沢岳をピストンすると言っていた。

宝剣岳からは長い縦走路が始まった。風が木曽側から吹いてきて涼しい。檜尾岳に着いた頃には伊那側に雲がモクモクとわいてきた。熊沢岳手前は岩を乗り越えたり変化に富み、やっと熊沢岳に着く。宝剣山荘の美味しいガーリック味のポークソテー弁当の残り半分を食べて、少し疲れが取れた気がした。次の東川岳へもアップダウンがあり手前のピークを登ってようやく東川岳が見えてきた。

木曽殿山荘では飲料水は有料であり、歩いて 10 分ぐらいのところに義仲の力水がある。冷たくておいしかった。宿泊者約３５名。

第三日目　朝、今日も雲海が白くきれい。木曽殿山荘前からは雲海に浮かぶハヶ岳連峰を望むことができる。空木岳第１ピークまで標高差３００m をゆっくりと登る。次の第２ピークはルートをはずしたようで、少しスリリングに左側を巻いて無事ルートに戻った。空木岳山頂は快晴で展望は素晴らしく、南駒ケ岳の威容が眼前にせまる。縦走最後の越百山は南駒ケ岳に隠れてまだ見えない。

空木岳から南への縦走者は少ない。しかしこの先は変化に富み、中央アルプスの良さはこの南部にあるように思われた。まず前衛峰の如き赤椰岳を越し、南駒ケ岳に到着した。ようやく越百山が展望でき、その手前にはこれから進む難所の仙涯嶺が横たわっている。仙涯嶺は岩稜帯で鎖場あり絶壁ありで、登ったり下りたりが長く続く。そうかと思うと小枝を漕いだりし、やっと仙涯嶺の標識のある小広場に出た。そこではイワツバメ？アマツバメ？十数羽が上空を乱舞し、ようこそと歓迎してくれているようだった。

仙涯嶺を越すと、一転し穏やかな尾根歩きとなり、縦走最後となる女性的な山容の越百山に到着した。＼(^o^)／　山名のごとく、百もの峰（多くの峰、今回は１０の峰）を越してやっとたどり着いた。下山開始まもなく、ゴロゴロ雷鳴が聞こえ始めたので急ぐ。気が気でなかったが、雨に降られず無事越百小屋に着くことができた。この小屋は定員２０名の完全予約制の為、事前に必ず予約が必要となる。この６月にバイオトイレが完成したばかりで清潔だ。飲料水は木曽殿山荘同様ペットボトルの購入となる。一時間下ったところに水場があり、登ってくる人はそこで汲んでくると良い。宿泊者１３名。

第四日目　伊那側の飯島への下山路は荒れて危険であり、また林道は崩壊の為通行止めとなっているので、木曽側の伊奈川ダムへ下山した。ダム下でモンベルの即席カレーリゾッタでランチし、予定通り１２時にタクシーに乗り、上松町のねざめホテルに向かった。日帰り入浴のトロン温泉は最高の湯だった。

好天に恵まれ、また良きパートナーに恵まれ、充実した楽しい山旅であった。フォトギャラリーは“山の記録・MountainView”をクリックしてください。